

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
北区音楽振興事業		北区			
事業目的	事業内容	活動指標	H29	H30	R1
区民に身近な場所で音楽を発表し、鑑賞する機会を提供することで地域文化の振興を図るとともに、親しまれ、開かれた区役所づくりを推進する。	①北区音楽祭 平成30年度開催の「北区まちづくりカフェ」に参加した、北区在住・在勤・在学または区内で活動する個人や音楽グループによる、区役所エントランスホールでの区民参加型の演奏会を実施する。その際、誰もが楽しめるようなゲスト演奏者も招聘する。 ②彩りコンサート 様々なジャンルの演奏者を招聘して、季節に合った演奏会を実施する。(年2回)	参加者数	音楽祭:500人 彩り第1回:50人 彩り第2回:90人	音楽祭:中止 彩り第1回:100人 彩り第2回:100人	音楽祭:140人 彩り第1回:100人 彩り第2回:中止
		来場者満足度	音楽祭 一般公募の部:80% ゲストの部:80% 彩り第1回:87% 彩り第2回:83%	音楽祭:中止 彩り第1回:89% 彩り第2回:86%	音楽祭 一般公募の部:85% ゲストの部:94% 彩り第1回:89% 彩り第2回:中止
①妥当性	②協働の視点	③インパクト		④効率性	
○	◎	○	○	○	○
区民に身近な場所で音楽に親しむ機会を提供するとともに、区民に親しまれる区役所づくりの推進に繋がっており、事業実施は妥当である。	音楽祭について、市民グループが出演のみならず司会や音響作業を担い、行政と役割分担のうえ協働で事業実施した。	区役所で実施することで、身近な場所で気軽に本格的な演奏を楽しんでもらうことができている。特に音楽祭では、様々なジャンルによるコラボレーション演奏も披露され、来場者から好評を得た。		音楽祭について市民グループと協働することで効率的な運営をすることができた。	
⑤自立発展性		総合評価			
○	○	○			
音楽祭について、既に市民グループが主体的に運営を担っており、十分に自立発展可能である。	音楽祭は悪天候のため観客が減少し、彩りコンサートは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、第2回を中止した。しかし、開催時は来場者に気軽に音楽を楽しんでもらう機会となり、アンケートでも好評を得ることができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	音楽を活用した区内の文化振興や開かれた区役所づくりをより一層図っていくため、次年度も継続していく。				